練馬区立開進第四中学校

保健だより



令和3年度

Vol. 05

保 健 室

令和3年11月4日発行

だんだんと日が短くなり、近づく冬を感じます。本格的な冬が訪れる前の温かくて穏やか天気のことを「小春日和」といいます。澄んだ秋風とやわらかい日差しのもとで、小春日和に紅葉を満喫するのもいいですね。ただ、朝晩は冷え込むので衣服で調整をして、かぜをひかないようにしてください。





新型コロナウイルスの患者数が減少していますが、まだ油断はできません。 冬に流行するインフルエンザウイルス やノロウイルスも、これから注意が必要 です。予防の基本はどれも同じ。コロナ 対策で身に付いた感染症の予防法を、 今後も続けていくことが大切です。

人間の脳は約 I 500 g で、頭の重さは約 4000 g になります。背骨はその重たい頭を支えています。人間の背骨の形は、横から見るとゆるい「S」の形をしています。 S の形のバネのはたらきで、重い頭を支えることができているのです。 ところで、背中が丸くなっている人、いませんか。横から見たとき、耳が肩の線より前にある人は要注意。背骨が「C」の形に近く、頭の重さが筋肉に負担をかけて、頭痛、肩こり、腰痛などの原因になります。また、内蔵の圧迫により、

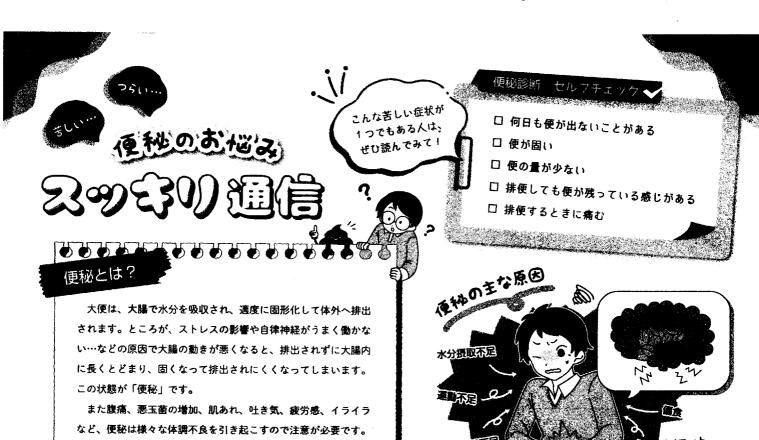
線より前にある人は要注意。背骨が「C」の形に近く、頭の重さが筋肉に負担をかけて、頭痛、肩こり、腰痛などの原因になります。また、内蔵の圧迫により、食後、内蔵が下がりやすくなって胃腸の働きが悪くなり、胃もたれや消化不良の原因にもなります。

上図のポイントを参考に姿勢をしゃきっとして、心身の健康を保ちましょう。



11月10日『いいトイレの日』にちなんで、「便秘」のお話です。便通は本来、毎日あるのが健康な状態です。トイレは便(うんち)を通して自分の体の状態を知る場所でもありますよ。

11月10日『いいトイレの日』にちなんで、「便秘」のお話です。便通は本来、毎日あるのが健康な状態です。トイレは便(うんち)を通して自分の体の状態を知る場所でもありますよ。



今日からできる人

便秘にならないコツ

1日3食をきちんと食べる

3 食きちんと規則正しく食べましょう。特に 朝ゴハンは大切です。朝起きたときの空っぽに なった胃に食べ物が入ると腸が刺激されるので、 排便リズムを整えることができます。



体を動かそう

適度なウォーキングは大腸の動き を活発にします。腹筋をきたえるの も腸の動きを高める効果があります。



…など

朝食後の「トイレタイム」

朝食後は便意が起こりやすい状態。 早めに起きてゆっくり余裕をもって 「トイレタイム」を作りましょう。



こしっかり水分補給を

便を柔らかくするために水分は欠かせません。特に朝起きたときの水 分摂取は、腸にほどよい刺激を与えます。



積極的に食物繊維を

食物繊維は便の量を増やし、排便 のリズムを整えてくれます。緑黄色 野菜、大豆、ひじき、ごぼうなどに 多く含まれるのでオススメです。



上分か廃眠を

自律神経を整えることも大事です。 しっかり睡眠をとり、規則正しい生 活リズムを心がけましょう。

